

会議録第 29 号（16 の 29）

# 五戸町議会第 29 回臨時会会議録

令和元年 7 月 9 日

招 集

五戸町議会議務局

# 五戸町議会第29回臨時会会議録

# 目次

ページ

## □7月9日（火曜日）第1号

招集告示	1
議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
応招議員	1
出席議員	1
欠席議員	2
事務局出席職員氏名	2
説明のため出席した者の職氏名	2
開会宣告・開議	3
諸般の報告の朗読省略	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3
議案第64号議題	3
提案理由説明（町長 若宮佳一君）	3
質疑・答弁	7
質疑終結・委員会付託省略・討論（なし）	8
採決（原案可決）	8
町長挨拶	9
閉会宣告	9
署名	11

## 巻末掲載

第28回定例会閉会（6月14日）以後の諸般の報告（61）	13
------------------------------	----

## 五戸町議会第29回臨時会会議録

---

五戸町告示第13号

五戸町議会第29回臨時会を令和元年7月9日五戸町役場議場に招集する。

付議すべき事件は、次のとおりである。

令和元年7月3日

五戸町長 若 宮 佳 一

1 財産の取得について

(第25分団消防ポンプ自動車(CD-I)購入)

---

### 議 事 日 程 第 1 号

令和元年7月9日(火曜日)午前10時開議

第 1 会議録署名議員の指名について

第 2 会期の決定について

第 3 議案第64号 財産の取得について(第25分団消防ポンプ自動車(CD-I)購入)  
(町長提出、提案理由説明)

---

○ 本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第64号 財産の取得について(第25分団消防ポンプ自動車(CD-I)購入)  
(町長提出、提案理由説明)

---

○ 応招議員 17名

---

○ 出席議員 17名

議 長	大 沢 博 君	副 議 長	古 田 陸 夫 君
3 番	相 内 樹 里 君	4 番	柏 田 匡 智 君
5 番	川 崎 七 洋 君	6 番	鈴 木 隆 也 君
7 番	大久保 和 夫 君	8 番	豊 田 孝 夫 君

9 番 高山浩司君  
11番 尾形裕之君  
13番 川村浩昭君  
16番 三浦專治郎君  
18番 三浦俊哉君

10番 大沢義之君  
12番 松山泰治君  
14番 沢田良一君  
17番 柏田雅俊君

---

○ 欠席議員 なし

---

○ 事務局出席職員氏名

事務局 長 石田博信君 主 査 川内剛士君

---

○ 説明のため出席した者の職氏名

町 長 若宮佳一君 副 町 長 大久保 均 君  
参事・総務課長 服部 勤君 会計管理者 沢向満雄君  
事 務 取 扱

午前10時 開議

○議長（大沢 博君） これより本日をもって招集されました五戸町議会第29回臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付いたしたとおりであります。

「諸般の報告」は、お手元に配付いたしておりますから、朗読は省略させていただきます。

〔諸般の報告（61） 巻末掲載〕

---

○議長（大沢 博君） 日程第1「会議録署名議員の指名について」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において松山泰治議員、川村浩昭議員及び沢田良一議員を指名いたします。

---

○議長（大沢 博君） 日程第2「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（大沢 博君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決定しました。

---

○議長（大沢 博君） 日程第3「議案第64号 財産の取得について」を議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。

若宮町長。

〔町長 若宮佳一君 登壇〕

○町長（若宮佳一君） 本日ここに、五戸町議会第29回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には御多用の中を御出席いただきまして、厚くお礼申し上げます。

今回、御審議いただきます議案の説明に先立ちまして、町政運営に臨む私の心構えと所信の一端を申し述べさせていただきます、議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

令和元年6月27日に五戸町長に就任いたしました五戸町が大好きな若宮佳一です。52歳6

か月です。

激動の江戸幕末から、明治、大正、昭和、平成の時代と150年の月日が流れ、そして本年5月1日より令和の時代に突入しております。新しい時代の幕開けと同時に新たな時代の五戸町の舵取り役を拝命いたしましたことに、身も心も引き締まる思いです。

平成の時代を振り返りますと、平成7年阪神淡路大震災、平成16年新潟中越地震、平成21年の未曾有の東日本大震災、平成28年の熊本地震、つい今年の平成30年は、西日本豪雨、大阪北部地震、北海道胆振東部地震など全国各地で大規模な災害が発生した時代だと思います。様々な災害に対し、常に全力で復興させないとならないという私たち大人の本気度が試された時代であり、また、当たり前前が当たり前前ができるという普通概念が、いかに尊いかを思い知らされた時代だったと思います。

五戸町においては、平成16年7月1日に旧倉石村と旧五戸町の県内第一号の合併がなされました。あの時の中央商店街は肩と肩がぶつかるほどのものすごい人ばかりで、メインのお立ち台には三浦正名前町長と他界されましたが久保晴一旧倉石村長が満面の笑顔で握手をして喜んでいるその光景は今でも鮮明に覚えています。華やかにみえる合併事業とは逆行し、当時の政府は三位一体の構造改革に踏み切り、地方交付税を減らして来ました。

その状況下において33項目の合併まちづくり計画を着実に一つずつ一つずつ推進し現在の五戸町があります。平成の時代の五戸町のまちづくりを汚すことのないように新たな時代へ、次の時代へ繋げることが今、私、若宮佳一に課せられた使命だと思っておりますので、どうか議員皆様、御理解と御協力をお願いいたします。

昨年末の私の決意表明以来たくさんの皆様方から御意見をお伺いしてまいりました。そしてその対話の中から生まれた政策が大きな項目で5つ、小さな項目で36項目ございます。今日はこの場ですべてを申し上げることは出来ませんが、少しお話ししたいと思います。

1つ目は、「未来へつなぐ教育のまち五戸」でございます。

その中でも、少子化に伴う人口減少は全国の自治体が抱える大きな問題となっております。会社を退職された方や、主婦の方、自営業を営んでおられる方が健康長寿でいきいきと生活されることは地域社会において大切なことです。子ども達は子ども達で勉強やスポーツに頑張っているわけですが、私たち大人も頑張ってお検しましょうということです。受検というのは「健康診断を受けましょう。」ということです。受検のまち五戸を推進しようと思えます。五戸町には一年に一度も健康診断を受けられていない方がたくさんおられます。最低一年に一回は健康診断を受けましょうというまちづくりに取り組んでまいります。

また、全国的に地方の自治体病院は医師不足に悩まされています。五戸総合病院も例外ではありません。皆さんの健康をまもるためにも五戸総合病院は絶対に必要であると思います。これまでも三浦前町長は医師の獲得に向けて努力してまいりました。医師をよそから連れてくるのではなく、五戸町自らが育てるという考え方で、すでに医学生への奨学金制度を整え平成27年度からこれまでに7人の医学生に奨学金を貸し付けしております。この制度は五戸総合病院に一定期間勤務すると返済しなくても良いという奨学金制度です。あと15年もすると八戸市民病院や、十和田中央病院などに五戸町から医師派遣することができる時代がやってくることでしょう。今後も医師を育てていく町を押し進めてまいります。

また、子育て世代への支援策として、10月から消費税が10%に値上げされる可能性が高いことから3歳から5歳までを対象に保育園、幼稚園の費用の無償化を国と足並みを揃えて進めていきます。それに連動して0歳から2歳児までの乳幼児についても保育園や幼稚園の費用負担を軽減できないものか検討いたします。

学校給食費についても保護者の給食費負担を軽減化できないものか直ちに調査いたします。子育て世代へはこれまで以上に継続的に積極的に支援策を講じてまいります。

次に2つ目は、「安心して仲良く平和に暮らせるまちづくり」です。

ここでは、(仮称)町タク事業の調査を本格的にしてみたいと思います。平成26年度から五戸町独自のコミュニティバスが運行されました。画期的な事業です。あれから6年目になりますが、高齢者の事情も変化して、コミュニティバスの停留所まで歩けないとか、遠いと多くの御意見を伺っております。また、お年寄りにはバス停まで歩いて行くには少し遠いなという集落がたくさんみられます。バスが集落内に入れないのも原因のひとつかと思います。

この問題を解決するため通院とか買い物とか目的が一致されている方2、3人の仲良しのお年寄りが申し込むと、町と年間契約しているタクシーを利用できるみたいな現在の町バス事業のタクシー版を調査してまいります。

また、1人暮らしの高齢のお年寄りの方が増えています。その現状を踏まえ、見守り機能を付加した移動販売事業者へ支援を研究いたします。高齢者宅を訪問して、「あれっ、おかしいと思ったら、すぐ役場まで連絡してください。」みたいな見守り協定書の締結等について調査します。

次に3つ目は、「にぎわいのあるまちづくり」です。

建設から20年以上経過しましたみらいパーク全体のリノベーションを図ります。まずは、図書館に入って右側の木村秀政ホールの使い方を検討いたします。また、公園機能を強化し、

地域や町外の子ども達までがこぞって集まってくる空間をつくりたいと思います。それに連動して商店街に人が流れ込むような施策を検討してまいります。

人口減少が進む当地域にとりまして日本国内、青森県内はもちろん八戸圏域、十和田圏域内の交流人口を拡大しなければなりません。また外国人観光客まで受け入れることを想定しなければなりません。平成29年1月から10月の間、青森県内の外国人観光客は19万6千人で東北六県の中ではトップであり、2位の宮城県を1万1千人上回っているそうです。青森県ではこれからも県知事をはじめとするトップセールスなどにより、外国人観光客が増えるだろうという見通しを立てています。観光客のための民泊事業の調査に入ります。また、空き家を利用した民泊事業への支援を研究してまいります。

次に4つ目は、「農業のまちの振興」です。

地消地産は更に推進します。五戸ブランドの確立へ積極的な支援策を考えます。また、農業の担い手不足の問題は深刻さを増しています。田畑は食料を生産するだけの機能ではなく国土保全や国土の防災機能まで果たしていると言われており、その田畑を守るためには農業の担い手が必要であり若者の就農支援はもちろんのこと、いったん会社を退職された方や、第2の人生は農業をやってみたいというようなシルバー世代の活躍に支援ができないものか調査に入ります。

また、現在のひばり野地区にある「ふれあい市」の成功を踏まえて、県道20号八戸三沢線沿いに産直施設を経営できないものか地域の皆様と建設に向け検討してまいります。

最後に5つ目ですが、「圏域市町村の繋がり」を更に強化していきます。交流人口拡大や高校生の通学支援のために、公共交通網の拡充を圏域内の市町村に提案します。八戸駅西口の開発や八戸西インターチェンジの開通並びに八戸市とゼビオグループが公民連携し整備している「フラット八戸」が2020年春にオープンする予定となっており、八戸駅西口が賑わうことが予想されます。それに伴い公共交通網の拡充は圏域市町村にとっては交流人口拡大の大きな要素であると確信しております。八戸駅西口から上市川経由、そして百石、おいらせ方面のバスルートは絶対に必要であると思っております。また、高校生や保護者の通学送迎の負担軽減に繋がると確信しております。

平成30年4月に五戸のおんこちゃん動画が完成しました。それをネットで見た仙台市に住んでいる私の同級生が、「なんか急に五戸の馬肉が食べたくなった」と、五戸に帰省して馬肉を食べたそうです。かわいらしい五戸のおんこちゃんですので、五戸町の情報発信のためにもフルに活用させていただき交流人口の拡大に努めてまいります。



以上、簡単ですが私の考えている政策の一部をお話しさせていただきました。

令和元年度は、町の最上位計画である総合振興計画や総合戦略の後期計画を策定する年度になっていますので、後期計画に盛り込めるものは盛り込んでいきたいと思えます。

その他の小さな項目の政策は、9月定例会以降に少しずつ御報告並びに御説明申し上げますのでよろしくお願いします。

新たな時代の五戸町を担う子ども達の笑顔や成長のために、また、お年寄りや女性が健康で生き生きと安心して仲良く暮らせるまちづくりを目指し、町民皆様の声に耳を傾け、まごころと思いやりで町民皆様に寄り添いながら、新たな時代の五戸町のために誠心誠意努力することを約束申し上げます。

それでは、上程されました議案の概要について御説明申し上げます。

議案第64号は、財産の取得についてであります。

消防ポンプ自動車（CD-I）購入に当たり、指名競争入札の結果、最低価格入札者の株式会社八戸鉄工所と、2,181万6千円で売買契約を締結するものであります。

以上、提出議案の概要について御説明申し上げましたが、細部につきましては御審議の段階で補足いたしたいと存じますので、よろしく御審議の上、原案のとおり御決定くださいますようお願い申し上げます。私の所信表明と提案理由の説明といたします。

〔町長 若宮佳一君 降壇〕

○議長（大沢 博君） これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

尾形裕之議員。

○11番（尾形裕之君） 自動車ポンプ購入の件なんです、前の町長とも一般質問等でお話しした経緯がございます。また、他の議員の皆様も自動車ポンプについて、お話しした経緯があると思いますが、今後も新町長は自動車ポンプを購入していく予定なのでしょうか。八戸市では、ポンプ自動車は五戸ほどは多くありません。大概が加搬であります。ずっと今までどおり、自動車ポンプをずっと毎年このようにお買いになっていく予定なのでしょうか。その点をお伺いしたいと思います。

○議長（大沢 博君） 若宮町長。

○町長（若宮佳一君） ただいまの質問にお答えしますが、消防団のほうと相談させていただきながら、計画的に配備していきたいなと思っております。

○議長（大沢 博君） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

鈴木隆也議員。

○6番（鈴木隆也君） この入札に直接絡む質問ではございませんけども、この第25分団が所在する地区と、また、今現在その消防団に人員が何人配属しているのか、また、本来望ましいとされる人員数、いわゆる定員ということですから、その3点よろしく願いいたします。

○議長（大沢 博君） 服部総務課長。

○参事・総務課長事務取扱（服部 勤君） 今回の消防ポンプの配置は、豊間内消防団になります。それと、団員数の人数等はちょっとこちらでは把握しておりません。後でお知らせしたいと思います。

○議長（大沢 博君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（大沢 博君） ほかに質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております「議案第64号」については、会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（大沢 博君） 異議なしと認めます。

よって、「議案第64号」については、委員会の付託を省略することに決定しました。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（大沢 博君） 討論なしと認めます。

これより「議案第64号」を採決いたします。

お諮りいたします。

「議案第64号」は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（大沢 博君） 異議なしと認めます。

よって、「議案第64号」は原案のとおり可決されました。

---

○議長（大沢 博君） 以上をもって、本臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

町長から御挨拶があります。

若宮町長。

〔町長 若宮佳一君 登壇〕

○町長（若宮佳一君） 今日はお忙しいところ、大変集まりいただきまして、ありがとうございます。未熟者でございますが、誠心誠意頑張ってまいりますので、議員皆様の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます、今日の閉会の御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

〔町長 若宮佳一君 降壇〕

---

○議長（大沢 博君） これにて五戸町議会第29回臨時会を閉会いたします。

午前10時23分 閉会



## 署 名

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

五戸町議会議長 大 沢 博

会議録署名議員 松 山 泰 治

会議録署名議員 川 村 浩 昭

会議録署名議員 沢 田 良 一